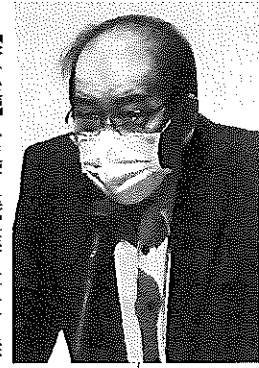


無事故・無災害を誓う

土幌建協 安全大会



講話内容の周知を呼びかける加藤会長

対する意識の高揚を図るとともに、本年度の無

【帯広発】土幌町建設業協会（加藤邦彦会長）は22日、土幌町総合研修センターで本年度安全大会を開催した。会員45人が参加。労働災害や交通事故防止に向けた講話を通じ、安全に

事故・無災害での完工を誓った。会員14社から45人が参加。来賓として土幌町の亀野倫生副町長、帯広労基署の土谷啓二郎署長、帯広警察署土幌駐在所の高野英樹

警部補が出席した。

冒頭、加藤会長は「講話をしっかりと聞いて日ごろの作業に結び付け、労災・交通事故対策だけでなく新型コロナウイルス感染症対策の徹底を。大会の内容を各社に持ち帰り広めてほしい」と期待した。

亀野副町長は「これから暑くなり過酷な時期を迎える。新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策を、ランス良く講じ、建設事故ゼロ、交通事故ゼロを目指す」と呼びかけた。

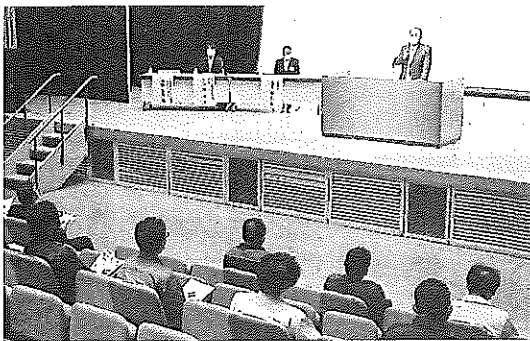
講話に移り、土谷署長が

労働防止に向けた対策などを解説。発生件数の多い墜落・転落事故を防ぐため、交差筋かい土高さ15センチ以上の幅木を配した枠組足場の活用などを求めた。

高野警部補は交通事故防止に向けて、死亡事故事例などを報告し、ゆとりのある運転を呼びかけた。

最後に榎平田建設の森若貴広氏が安全決意を示し、無事故・無災害達成へ会員一人ひとりが強い意志を持ちながら作業に当たること

45人が労災防止策学ぶ 土幌町建協が安全大会



安全第一を誓った

【帯広】土幌町建設業協会（14社）は22日、町総合研修センターで安全大会を開いた。参加した

45人が講話などで労災防止策を学び、安全第一を誓った。

加藤邦彦会長（加藤電気工業）は「安全対策は何度勉強してもいい」と力説。「じっくり学び、労働防止に役立てて」と呼び掛けた。

講話では帯広労基署の土谷啓二郎署長が労災防止策と発生時の適切な対応を解説。「管内では死亡災ゼロの最長記録を更新中。各社で労災ゼロを目標にして」と訴えた。

この後、帯広警察署土幌駐在所の高野英樹警部補が交通事故対策を説明。平田建設の森若貴広さんが安全決意をした。